

仙台沸騰 経済効果ピカア

国内外ポケモンレーナー集結 ———— 試算50億円

世界的な人気を誇るスマートフォンゲームのイベント「ポケモンGOフェスト2024」が30日、仙台市内で始まった。昨年の大阪開催では3日間で6万人が集まったという大規模イベント。経済効果は東北絆まつりに匹敵する40〜50億円とも見積もられ、商店街を中心に波及効果への期待が高まった。

(1・23面に関連記事)

ホテルほぼ満室

観光ルート設定

商店街で限定品

● 最高のイベント

主会場の七北田公園(泉区)の周辺や市中心部は平日にもかかわらず、レアポケモンを獲得しようと国内外から訪れた大勢のプレーヤーでにぎわった。

オーストラリアから訪れたクリッキーさん(22)は米国人の仲間3人と日曜まで市内ホテルに連泊し、イベントを満喫する。「スペシャルなポケモンを手に入れたい。仙台の観光も楽しみたい。最高のイベントです」と興奮気味に話した。

6月2日までのフェスト

期間中、市内は予約で埋まった宿泊施設が多い。

13棟のビジネスホテルを展開する松月産業(仙台市)は期間中、全棟がほぼ満室になった。「特に西日本からの宿泊客が増えた」と担当者。青葉区の「ホテルアジアリゾート」は連泊の予約が通常より増加した。フェスト参加者とみられる外国人客も多いという。

主催するゲーム運営会社のナイアンティック(東京)と連携し、仙台市は食歩みや温泉巡りなどを楽しめ



ポケモンをゲットするため、スマートフォンの画面を連打する女性たち=JR仙台駅西口のペデストリアンデッキ

る10カ所の公式ルートを設けた。市中心部のアーケード街や秋保、作並の面温泉街、震災遺構を含む東部沿岸地域などへの誘客を図る。

ゲームセンター「GIG O 仙台一番町」は、フェスト開催が決まった3月ごろから、関連の景品を増やし、準備を進めてきた。男性店員は「クレインゲームの配置をポケモンが前面に出るように変えた。今日の来客は普段より少し多いくらいだが、本番はこれから」と期待を寄せた。

フェストと提携する中心商店街の61店舗は、限定シールを来店者に配布した。普段より来客が3〜4割多かったという青葉区の「ずんだずんだカフェ」の女性店員は「テイクアウトの商品がよく売れている」と話した。

● リピーター増へ

フェストの国内開催は2019年の横浜、22年の札幌、23年の大阪に次いで4カ所目。経済効果は大きく、札幌で87億円、大阪は54億円と発表されている。

七十七サーチ&コンサルティング(仙台市)の田口庸友首席エコノミストは「仙台での波及効果は大阪よりわずかに少ないか同規模になるのではないかと推測し、「初めて仙台に来た人たちにリピーターになってもらえるよう好印象を与えることが、効果をさらに高めるためには必要だ」と述べた。



ピカチュウのサンバイザーをかぶってポケモンGOで遊ぶプレイヤーら=仙台市青葉区のぶらんどーむ一番町商店街